

平成25年度 栃木県公立小中学校事務職員 研修会並びに総会



平成25年5月24日（金）、平成25年度栃事研研修会並びに総会が宇都宮市文化会館小ホールにおいて開催されました。開会式には栃木県教育委員会をはじめ多くのご来賓の皆様に出席を賜り、いよいよ本年度の栃事研活動がスタートを切りました。

総会では昨年度の事業報告、決算報告及び本年度の事業計画、予算案についてご審議いただき、つつがなく承認されました。

引き続き行われた研修会では、栃事研岡崎会長より「とちぎの学校事務ビジョン」について説明がありました。その後、全事研石川大会第1分科会の提案プレ発表が行われました。

なお、研修会の詳しい内容について、次号の栃事研会報に掲載しますので、ご覧ください。

とちぎ学校事務ビジョン

「とちぎ学校事務ビジョン」には、とちぎの学校事務は教育目標達成に向け、学校経営ビジョンを実現するというねらいの中で、質の高い安定した学校事務を保障し教育活動の基盤を整備するなど、組織に貢献するとちぎの事務職員の向かうべき方向性が提示されています。



項目	内容
1. 事務職員の能力開発	研修会の開催、セミナーの実施、勉強会の開催などにより、事務職員の能力開発を図る。
2. 事務職員の働きやすさの向上	事務職員の働きやすさの向上を図るため、業務の効率化を図る。
3. 事務職員の働きがい	事務職員の働きがいを感じさせるため、業務の充実を図る。
4. 事務職員の働き方	事務職員の働き方を改善するため、業務の効率化を図る。
5. 事務職員の働き場	事務職員の働き場を改善するため、業務の充実を図る。

とちぎ学校事務ビジョンは、栃事研HPにUPされています。

栃木県公立小中学校事務職員研究協議会

とちぎ学校事務ビジョン

とちぎの子どもたちを 自らの力で 自身の未来を 力強く切り拓いていける人間に育てるために

とちぎの教育づくりを推進する学校事務を実現します

平成25年4月

提案プレ発表

とちぎでは「とちぎ学校事務ビジョンとチャレンジプラン」に基づき活動する中、宇都宮市においては「小中一貫教育地域学校園」が制度化されるなど教育システムに変化が起きています。また、採用前研修の制度化や「栃木県公立小中学校事務共同実施推進のモデル」の通達などは、新たな展開、さらなる発展へのチャンスとなります。

提案発表では、これらの新たなシステムや地域を含めた学校経営に対応するため、事務職員に必要な資質・能力や機能・役割、さらにはそれを支える研修体系などについてプレゼンテーションによる発表がありました。



第45回全国公立小中学校事務研究大会石川大会 第1分科会（栃木支部）

- <分科会テーマ> 「イノベーション！質の高い教育の実現を目指して」
— 学校経営ビジョン実現に迫る基本戦略 —
- <分科会形態> 第1部 プレゼンテーションによる提案発表
質疑応答
指導助言（レクチャー）
シンポジウム
- 第2部 討議の柱 ・ これからの学校と地域連携の在り方について
・ 新しい事務機能と事務職員の役割について

<研発表録 目次>

はじめに

第1節 「とちぎの学校事務」創設に向けて

- 「とちぎ学校事務ビジョン」
 - とちぎの学校事務実現のための必要条件
- 実行策「とちぎチャレンジプラン」
- 栃木県の変化
 - 「統一的研修」の制度化
 - 「栃木県公立小・中学校事務共同実施推進のモデル」について」の提示
- 「小中一貫教育地域学校園制度」と宇都宮市小中学校事務職員研究協議会の取組
 - 宇都宮市における「小中一貫教育地域学校園制度」
 - 「小中一貫教育地域学校園制度」と宇都研活動
 - 地域学校園事務室の設置と統一的整備
 - 宇都宮市での取組と「とちぎ学校事務ビジョン」

第2節 「とちぎの学校事務」実現に向けた基本戦略

- とちぎの研修の実態
 - 「研修の体系化」にあたって
- とちぎの「研修の体系化」
 - 経験年数に応じた資質・能力と必要な研修
 - 組織の役割と相互連携
 - リーダーの育成
 - 研修成果の検証と学校で実践に結びつけるための体制づくり

おわりに